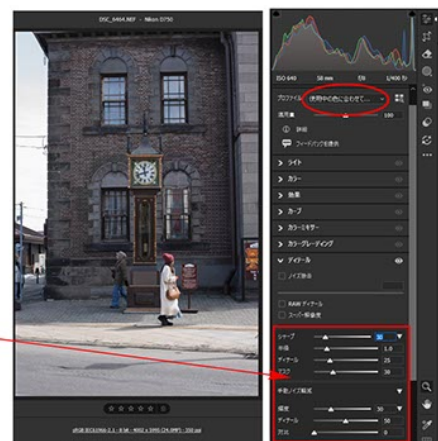


*時計台が主役 - ジオメトリのテクニック -

先日小樽オルゴール堂に行った時の画像です。入口付近に良い感じの時計台がありましたので人物が通過するタイミングで撮影しました。とは言え撮影者の私は道路のど真ん中という事で構図など気にしている暇がありませんでした。そこでCameraRawのジオメトリを使って「時計台が主役」「通行人が脇役」になるように調整します。

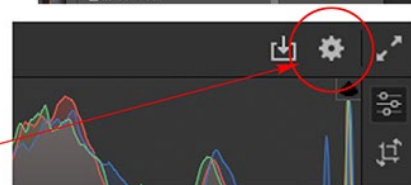
①ではオルゴール堂の時計台のRaw画像を **Ps** に直接ドラッグしてCameraRawを開きます。まず画面右側のプロファイルを「使用中の色に合わせる」をクリックします。すると少し明るかった画像が締まりました。次に項目から「ディテール」をクリックして「シャープ30」「マスク30」「輝度30」に設定します。この設定は毎回変わらないのでこの時点でプリセットに登録しておきます。



②では「Ctrl」と「Shift」と「P」を押します。するとプリセット画面が表示されます。チェック項目がありますが気にせず画面上「名称未設定」をクリックして「使用中+ディテール」に変更します。これでプリセットが出来ましたので「OK」で閉じます。



③次にどの画像を開いてもプリセットの「使用中+ディテール」が適用されるように設定します。では画面右上の ⚙️ (設定) をクリックします。では次の順番でクリックしていきます。



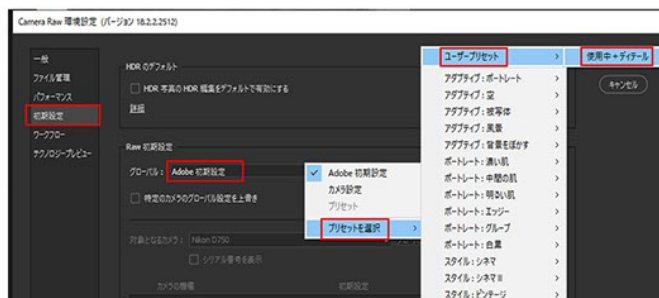
①左側「初期設定」をクリック

②グローバルの「Adobe初期設定」をクリック



③「プリセットを選択」をクリック

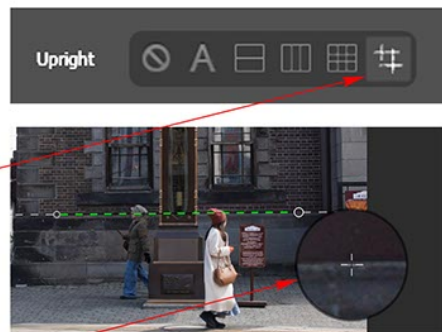
④「ユーザープリセット」から


「使用中+ディテール」をクリックして「OK」。

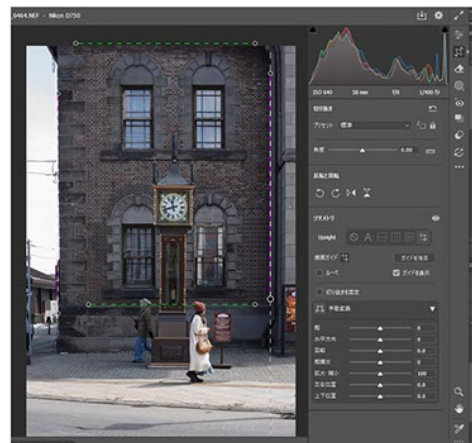


これでどの画像が開いてもディテールの「シャープ30」「マスク30」「輝度30」は設定する必要なくなりました。「使用中の色に合わせて」だけ少し設定がありますので、次の課題でご紹介します。では本題のジオメトリに入っていきます。

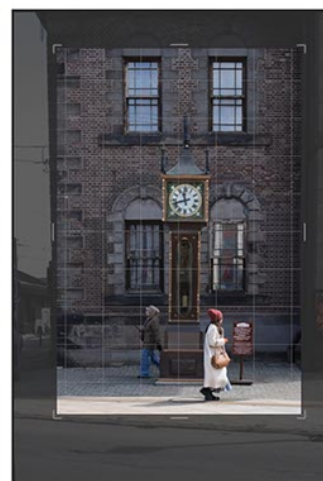
④ それでは画面右側の項目から  (切り抜き・ジオメトリ) をクリックします。右側の項目が変わりましたらジオメトリの「Upright」一番右側にある  (ガイド付き) をクリックします。次に画面が少し大きくなると思います。では建物の下辺りの傾きと建物上の屋根付近の傾きを横にドラッグします。この時「Alt」を押すとルーペが表示されるので細かい部分をクリックするのに便利です。すると建物が平行になりました。





⑤ 次に建物の側面を左右両側を縦にドラッグします。すると更に建物が長方形のようにまっすぐとなります。これで傾きを調整する事ができました。では要らない部分をトリミングしますので画面右側の  (切り抜き・ジオメトリ) をもう一度クリックします。これでトリミング範囲が変わります。






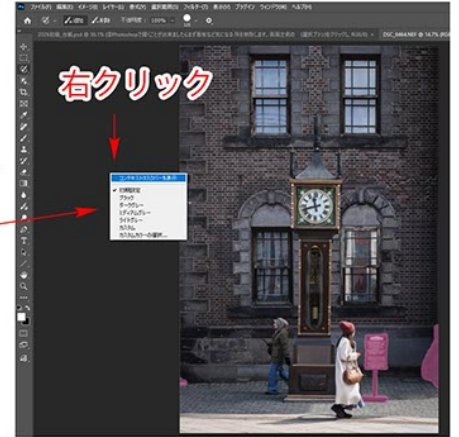
⑥ では左側の空、右側のパイプ?はカットします。すると窓が切れてしまいますのでトリミング範囲を上を持っていくと人物がギリギリになってしまいました。こんな時は**トリミング範囲はそのまま**で**ジオメトリの手動変換を行います**。まず「縦」の左側に少し「-5」ほど動かします。すると建物が大きくなり人物足元にすこし隙間が出来ます。更に「縦横比」を左側に「-10」調整して少し横幅に余裕を持たせます。トリミング範囲を調整します。








⑦ では「Enter」で確定するとトリミングすることが出来ました。ではPhotoshopで開く前に画面右側の  (編集) をクリックします。次に「効果」の「明瞭度」を「+30」「周辺光量」を「-10」設定しました。この「周辺光量」の調整は強調したい被写体に目がぐっと行くようになりますのでおすすめです。では画面右下の  をクリックしてPhotoshopに入ります。



⑧Photoshopで開くことが出来たらまず看板など気になる所を削除します。画面左側の  (選択ブラシ) をクリックして左下の白い部分、看板、右下の影になっている部分を塗ります。赤く選択範囲(オーバーレイ表示)されたら画面左側ツールバーの隣何もない所を右クリックします。表示される「コンテキストタスクバーを表示」をクリックします。ではここで迷うのが  生成塗りつぶし と  削除 です。



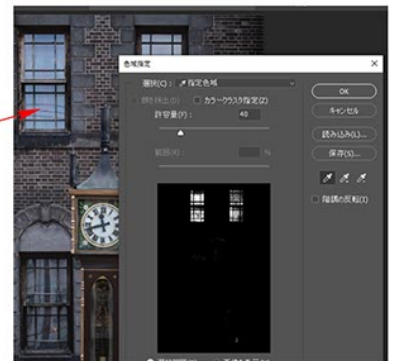
⑨まず大きな違いとして  生成塗りつぶし はクレジットが1減ります。 削除 は減りません。出来上がりに付いてはどちらもぼやっとはします。細かい所や何かオブジェクトの続きなど(木々や窓や人物など)を予想してくれるのは  生成塗りつぶし でとにかく消すのが  削除 今回のように不規則な背景の場合は  削除 をクリックします。




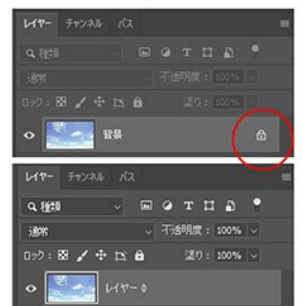
⑩少し待つと削除する事ができました。拡大してみると多少ぼやっとはしてますが主役でも脇役でもないのでOKとします。では最後にこの日は曇りのち晴れで窓に雲が写っていました。しかしこの画像には写っていませんので簡単に雲を表現します。




⑪ではまず画面上の **選択範囲(S)** から「色域指定」をクリックします。選択画面が表示されましたら窓の青い部分をクリックします。これだけで「OK」をクリックします。すると窓に選択範囲が出来ました。では **ファイル(F)** から「開く」をクリックしてサンプル画像に入れていた「曇りのち晴れ.jpg」を開きます。







⑫青空画像が表示されましたらレイヤーパネルの  南京錠をクリックして外します。すると「背景」レイヤーが「レイヤー0」になります。それではこの画像を窓の上に配置しますので「Ctrl」と「C」を押します。次に時計台の画像に戻って「Ctrl」と「V」を押します。



⑬では青空画像をレイヤー一番上に配置出来ました。では選択範囲がのこったままになっていますのでレイヤーパネルの  (レイヤーマスクを追加) をクリックします。すると空が窓の形にマスクされほとんど見えなくなりました。



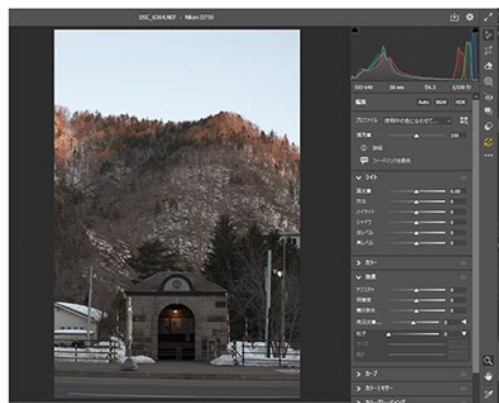
⑭ではこのまま空を動かすとマスクまで動いてしまいますのでマスクの隣  リンクマーク  を南京錠のようにクリックして外します。あとは  青空のサムネイルをクリックして画面左側の  移動ツールをクリックして「Ctrl」を押しながらドラッグします。すると窓の中で青空だけが動くようになります。これで小樽オルゴール堂の時計台の完成です。





* バス停の灯り

早朝に街歩きをしていると雰囲気のあるバス停がありました。裸電球に光が灯り朝焼けで裏の山々にはオレンジ色が入っています。電線や家などを削除ツールなどで消してスッキリしたあとバス停の灯りを少し強調します。あと最後に屋根にも雪を表現する方法をご紹介します。

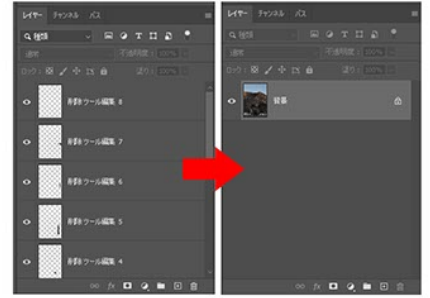
①ではバス停のRaw画像を  Photoshopに直接ドラッグ&ペーストします。CameraRawが開きましたら先程設定したプリセットが効いていますので「ディテール」は調整する必要はありません。ただ「使用中の色に合わせて」は画像によって異なりますので画面右側に表示された  Ai編集ステータスをクリックして  をクリックします。するとバス停の画像で「使用中～」が適用されます。




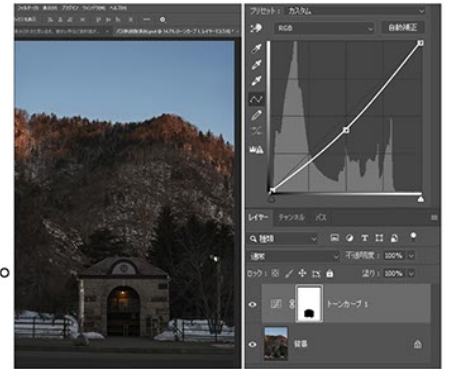
②今回は少し暗いですがこのままで良い感じなので「開く」をクリックしてPhotoshopに入ります。まずはとにかく周辺の建物や電線を  選択ブラシで囲いコンテキストタスクバーの  削除 で消していきます。




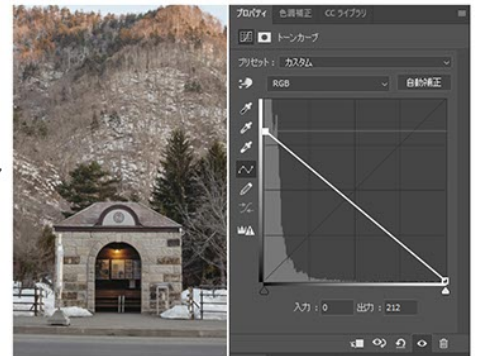
③細かく消していくと沢山レイヤーが表示されると思います。細かい所など違和感がなければ **レイヤー(L)** から「画像を統合」をします。もし違和感がある場合は「生成塗りつぶし」で再調整していきます。それではまずはバス停以外を少し暗くしますので画面上の **選択範囲(S)** から「被写体を選択」をクリックします。





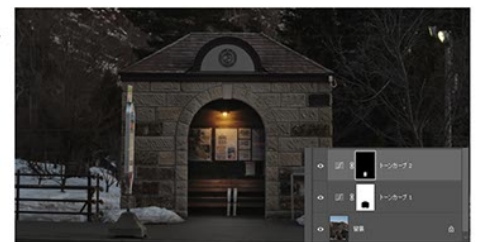
④バス停だけに選択範囲が出来ましたので再び **選択範囲(S)** から「選択範囲を反転」をクリックします。これでバス停以外に選択範囲が出来ました。この状態で  (調整レイヤーを新規作成) から「トーンカーブ」をクリックして暗く調整します。では次に裸電球の灯りを足していきます。




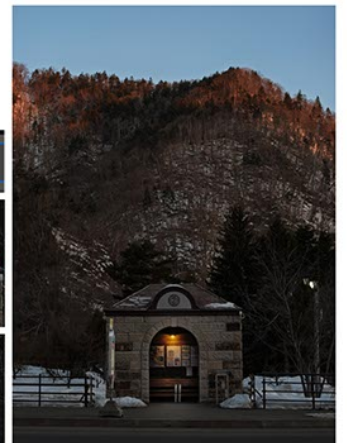
⑤今回は先に  から「トーンカーブ」を立ち上げて単純に明るくしないで描画モードを「通常」から「覆い焼きカラー」に変更します。次にトーンカーブ調整パネルの右上のポイントを一番下に、左下のポイントを中央より上にまで上げます。するとシャドウ部分からじんわり明るくなりますが全体的に明るくなってしまいます。



⑥そこでマスクをクリックしてトーンカーブのパネルがマスクパネルに変わりますので項目の中の **反転** をクリックしますあとは  ブラシツールで描画色/背景色を  にしてバス停の中だけを塗ります。塗れましたら不透明度を「5%」ほどにして少しこぼれる光を表現すれば良い感じになります。



⑦それでは最後に  (選択ブラシ) で屋根を塗ります。次に **生成塗りつぶし** をクリックして次に表示される項目「プロンプト」に「屋根に雪が少し残る」と打ち込みます。すると本当に少しだけ雪が表現出来ました。このプロンプトは面白いので追ってご紹介します！



* 花の色 -ぼかし(表面)で色鉛筆画風-

お花を撮影されている方は絶対に試したくなる「色鉛筆タッチ」の色鉛筆画風をご紹介します。いろんな方法で絵画調は出来ますがより写真よりの色鉛筆タッチは「ぼかし(表面)」と描画モード「除算」を使います。で調整方法をご紹介します。

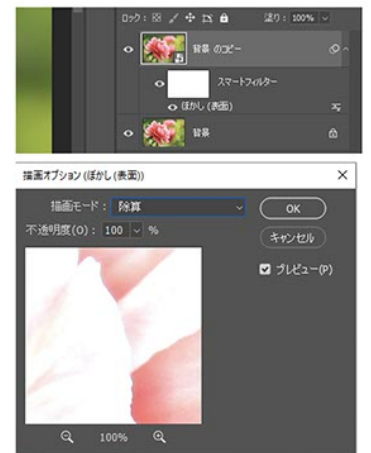
①では「花の色.jpg」をPhotoshopで開きます。「背景レイヤー」を (新規レイヤーを作成)にドラッグして「背景のコピー」を作成します。次にぼかし(表面)を使いますので右クリックして「スマートオブジェクトに変換」をクリックしておきます。



②それでは画面上の **フィルター(F)** から「ぼかし」の隣に表示される「ぼかし(表面)」をクリックします。調整画面が表示されましたら「半径」と「しきい値」を中央ぐらいにとりあえず設定します。「OK」で調整画面を閉じると画像が少しボケました。

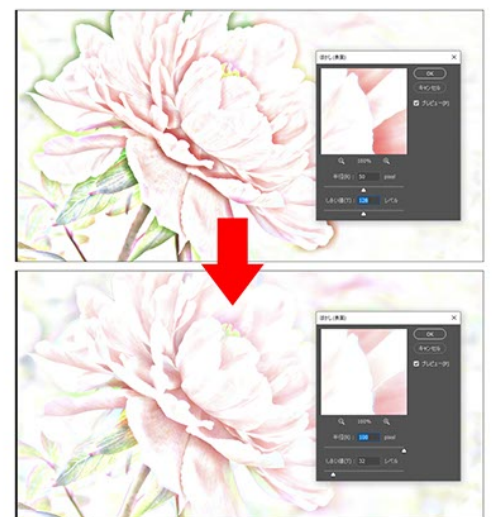


③それでは描画モードを変更しますが、ここで描画モードを変更してしまうと(ぼかし表面)しか使えません。そこでレイヤー上の描画モードではなく このマークをダブルクリックします。描画モードを調整できる画面が表示されますので、「通常」を「除算」に変更します。「除算」は「主な効果は、写真全体の明度アップ、色かぶりの補正、または暗い背景を自然に白く飛ばす」と記載されています。



④少し雰囲気のある画像になりましたが少しエッジが強く作品とは言えず絵画調?と言われてしまう感じです。そこで **ぼかし(表面)** をダブルクリックして再調整を行います。

今回の画像は「半径」を「100px」にして「しきい値」を「0」から上げていきます。少し明るいですが「32」ほどに設定しました。先程のエッジが強い感じとは違い一気に色鉛筆タッチにする事ができました。

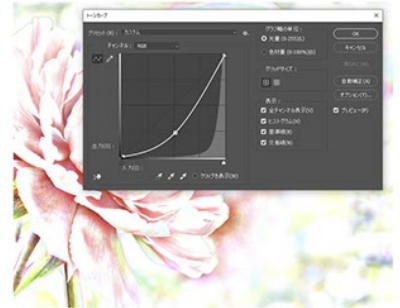



⑤今回「色鉛筆画風」の場合は先程の設定にしますが、「線画」のような細い線にする場合は「半径」を少なく「10」pxまでにして「しきい値」を上げていきます。

画像に寄って異なりますが隣の「線画」は「半径」「9」「しきい値」を「75」にしました。ただ「色鉛筆画風」の方がより深みのある作品になります。




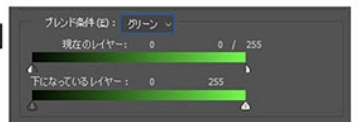
⑥では花の画像に戻ります。オーバーなイメージになりますのでトーンカーブで少し暗くしていきます。では先程ご紹介したように「Ctrl」と「M」を押します。するとトーンカーブ調整画面が表示されますので、暗く調整します。もちろん「Ctrl」と「L」でレベル補正でも問題ありません。これで **トーンカーブ** レイヤーを表示させて再調整できるように出来ました。




⑦それでは最後に淡い色合いを表示させて写真寄りにしていきます。まず背景レイヤーを **+** (新規レイヤーに作成) にドラッグして「背景のコピー 2」を作成します。次にそのレイヤーを一番上に配置します。ここで2つポイントがあります。まず全体的に白いので色を出したい。もう1つ葉っぱの色を活かしたままにしたい。この2つをポイント調整できるのは「ブレンド条件」がおすすめです。では  レイヤー右側をダブルクリックします。



⑧ブレンド条件画面が表示されましたらまず「グレー」を「グリーン」に変更します。次に白三角  を「Alt」を押しながら左側まで調整します。するとマゼンタ色が残って緑が雰囲気よく残る感じになります。





次に「グレー」に戻して黒三角  を「Alt」を押しながら右側に少し調整します。するとシャドウ葉っぱ部分が表示出来ました。これで「色鉛筆画風」の完成です。



* レントゲンフラワーに挑戦

レントゲンフラワーはX線フラワーとも呼ばれるアート作品です。これは個人では撮影する事ができず、放射線技師や業者に依頼するしかありません。そこでPhotoshopの力で「レントゲンフラワー」を再現出来ないか考えてみました。

①今回は「蓮の花」にしました。はじめは花びらの少ない花の方がおすすめです。Photoshopで開くことが出来たら、早速画面左側の  ペンツールを長押しして  (曲線ペンツール) をクリックします。では花びら1枚ずつクリックしてパスを作成していきます。花に囲まれた花びらは作成しません(あとで濃くなりすぎるためです)



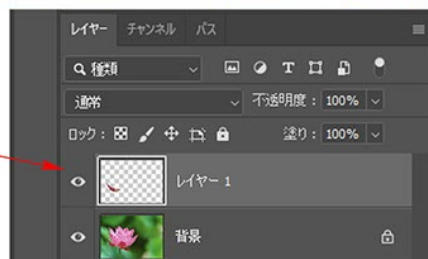
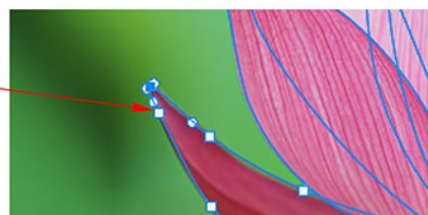
②難しいですがポイントは花びらの先からダブルクリックをして線を引くというかクリックしていく感じです。そしてここが一番重要ですが隠れた部分は「X線写真」ではないのでわかりません。なので想像で線を引いていきます。今回は10箇所曲線ペンツールで青い線(パス)を作成することが出来ました。



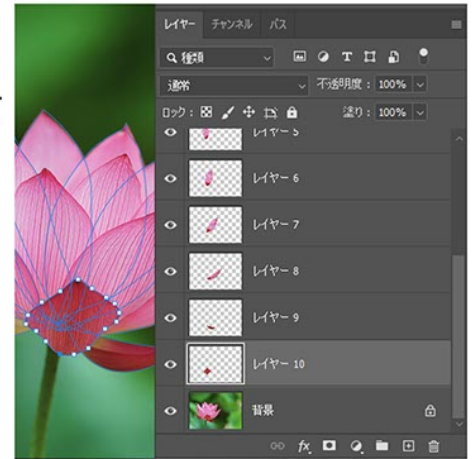
③それでは1枚ずつレイヤーにしていきます。では「Ctrl」を曲線ペンツールが「パス選択ツール」になりますので花びらの一部を囲むようにドラッグします。するとその花びらのポイントが表示されます。



④次に右クリックをして表示される「選択範囲を作成」をクリックします。「ぼかし」は「0」で良いので「OK」をクリックします。するといつもの選択範囲が表示されます。次に「Ctrl」と「J」を押します。すると独立レイヤーを作成する事ができます。では続いて違う花びらにいきますので「背景レイヤー」をクリックしておきます。



⑤では同じように「Ctrl」を押しながら花びらの一部を囲みパスのポイントを表示させます。同じように右クリックをして「選択範囲を作成」をクリックして表示画面は「OK」をクリックします。選択範囲が出来ましたら「Ctrl」と「J」で独立レイヤーを作成します。そして再び「背景レイヤー」をクリックして次に花びらにいきます。この作業を作成したパスだけ繰り返します。10個のレイヤーが出来ます。



⑥では **パス** パネルをクリックして「作業用パス」をダブルクリックして「パス1」に変更しておきます。これで保存してもこのパスは消えません。とりあえず今はいらないので「パス1」の下を空間をクリックして青い線(パス)を消します。



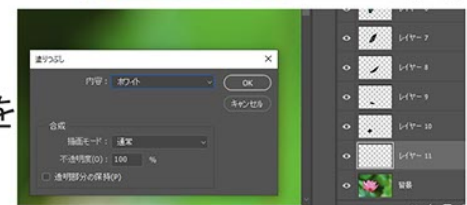
⑦「レイヤーパネル」に戻ります。では「レイヤー10」から次はエッジを抽出していきます。**フィルター(F)** から「フィルターギャラリー」をクリックして「表現手法」の「エッジを光彩」をクリックします。画面右側の項目は上からエッジ幅「2」エッジの明るさ「12」滑らか「5」に設定します。すると黒に蛍光のラインが表示されます。では「OK」をクリックするとレイヤー10の花びらの一部が黒くなります。これは重なった部分があるということです。



⑧では「レイヤー9」をクリックして同じように調整しますが2回目からは **フィルター(F)** から「フィルターギャラリー」をクリックするだけで適用されます。では「レイヤー1」までクリックして適用していきます。すると花びらすべてが黒色に蛍光ラインになりました。

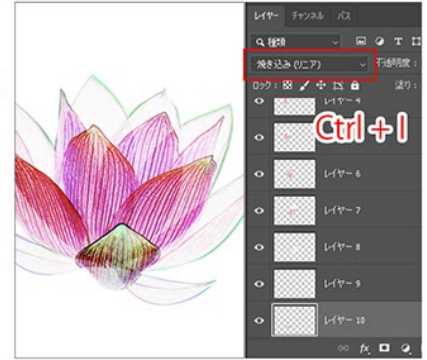



今回はレントゲンフラワーにしたいので背景を白にします。一番下の「背景レイヤー」をクリックして **+** (新規レイヤーを作成) で透明レイヤーを作成します。次に **編集(E)** から

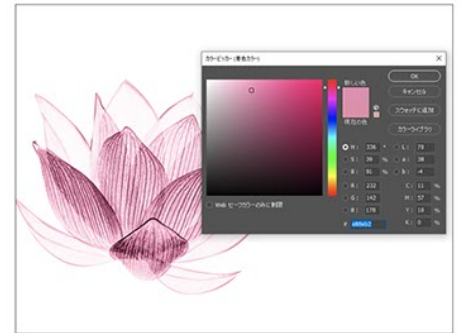



「塗りつぶし」をクリックして「ホワイト」にして白く塗りつぶします。

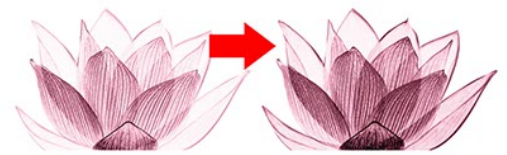
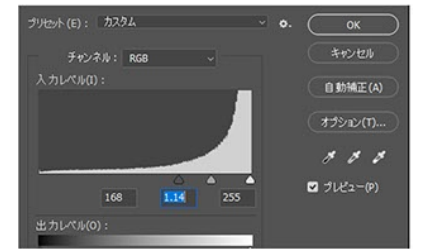
⑨ それでは「レイヤー1」から「レイヤー10」までを「Ctrl」を押しながらクリックして選択します。次に描画モードを「通常」から「焼き込み(リニア)」に変更します。これだけでは変化ありません。では次に「レイヤー1」をクリックして「Ctrl」と「I」を押して「階調を反転」をします。すると黒が白くなりエッジの蛍光色も変化します。すべて変更します。




⑩ 次に「レイヤー1」をクリックして  (調整レイヤーを新規作成)から「白黒」をクリックします。白黒画像になりましたら「着色」にチェックを入れます。レントゲンフラワーはくすんだ青色かベージュなイメージですが今回はピンク色に変更します。(#e88eac)



⑪ 良い感じになってきましたが重なっていない背景の花びらが少しインパクトが少ないように思えます。そもそもですが、この加工は絞って花全体にピントがある方が良いでしょう。では薄い花びらを「Ctrl」を押しながらクリックしてレイヤーを選択します。では「Ctrl」と「L」を押して「レベル補正」を立ち上げて黒三角  を右側までドラッグして濃くします。他の薄い花びらも同じようにレベル補正で濃くします。



⑫ それではレイヤー一番上の「白黒レイヤー」をクリックして  (調整レイヤーを新規作成)から「明瞭度とかすみの除去」をクリックして「かすみの除去」を「+100」に設定します。「明瞭度」は少し下げて柔らかくします。あとは彩度などを上げてレントゲンフラワーの完成です。今回は花びらだけやりましたが茎も選択範囲を作成して同じように調整すると良い感じの作品が出来ます。

